

QOLサポーター新潟

— 新潟医療福祉大学広報誌 —

第4号

2002年9月18日発行 新潟医療福祉大学広報委員会編集

入学式



4月3日、晴天の中新潟県内でいち早く入学式が行われ、第2期生として、5学科合計325名が入学いたしました。

創立記念式典



6月19日、創立記念式典が行われ、学長講話から始まり、手話クラブ、吹奏楽クラブによるミニコンサート、続いて30名の学生がそれぞれの夢と希望を語りました。



オープンキャンパス

7月20日、8月3日の両日オープンキャンパスが開催され、数多くの高校生またはご父母の方からご参加いただき、体験実習や模擬授業など各学科それぞれのプログラムを体験していただきました。

理学療法学科



言語聴覚学科



誌名「QOLサポーター新潟」の由来

世界の長寿国となった我が国では、「いのちの長さ」を伸ばすことと同等に、「生活の質、Quality of Life, QOL」を豊かにすることが、益々重要になっております。新潟医療福祉大学では障害者、高齢者などのQOLを高くすることを支援する（サポート）人材を育成します。このような人材を「QOLサポーター」と名づけました。そして皆様に本学の内容、活動をお知らせする広報誌を「QOLサポーター新潟」としました。

入 学 式

新入生誓いの言葉

●医療技術学部 言語聴覚学科 1年 中村 達也

本日は、私達新潟医療福祉大学新入生のために、このような盛大な入学式を催していただき、誠にありがとうございます。

只今、あたたかい励ましのお言葉を頂戴し、私達新入生一同、これから始まる学生生活への決意を新たにいたしました。

さて、「超高齢化社会」の到来により、「障害を持つ方や、高齢者の生活の質を高め、いかに良く生きるか」つまり「QOLを高める」という考え方が非常に重要となっています。「QOLを高める」という事は、「一人一人の人生をいかに自分らしく、充実したものにするか」という考え方だと、私はとらえています。「いかによく生きるか」という事は、人それぞれです。QOLの充実のためには、医療・福祉の各分野が断片的にクライアントを支えるだけでは十分なサポートとは言えません。

新潟医療福祉大学のシンボルである図書館棟のペンタルーフは五角錘です。これに象徴されるように五学科が融合し、協力するチーム医療を学び、クライアントのQOLを支えていきたいと思えます。そのために私達は各分野におけるスペシャリストであり、同時に幅広い知識を兼ね備えたゼネラリストを目指したいと思います。そして豊かなコミュニケーション能力を併せ持つQOLサポーターとなるよう、日々努力を続けたいと考

えています。

そして、私には大きな目標があります。それは、患者さん本人の治療はもちろん、患者さんの家族などへの精神的ケアも十分におこなえる、人間性あふれる言語聴覚士となることです。さらに、現在の教育機関では、言語障害・聴覚障害を持つ子供達が、十分なサポートを受けられないのが現状です。学校や、施設にも言語聴覚士を配置し、十分に支援できる世の中になるよう私も努力していきたいです。

今、私達新入生は、それぞれの目標を持ち、大きな夢や希望を胸に抱いて、新たに学生生活を始めようとしています。高橋 榮明学長をはじめ、新潟医療福祉大学の皆様、家族やお世話になった地域の方々などからいただいた激励への感謝の気持ちを忘れず、自分達の夢の実現を目指し、これから勉学に励んでいきます。

また、この場には志を共にする仲間達がいます。その仲間達と切磋琢磨し、友情を育みながら、知識・技術の習得に励み、幅広い教養と、豊かな人間性を身につけられるよう、精一杯努力していくことを、ここに誓います。

入学式 式次第

(4月3日 10:30~11:30)

- ファンファーレ
- 一、開式の辞
- 一、入学許可
- 一、学長式辞
- 一、来賓祝辞
- 一、新入生宣誓
- 一、吹奏楽部による記念演奏
- 一、閉式の辞



理学療法学科・言語聴覚学科 特集

●理学療法学科の特徴

本学の理学療法学科は、基礎科目、専門基礎科目、専門教育などの分野で経験豊富な教員を揃え、カリキュラムの充実を図っています。特に、学生の自己学習能力・問題解決能力の向上、臨床見学・実習能力の向上を目指し、教員一同努力しているところです。最終学年の段階では、総合臨床実習、卒業論文、国家試験合格、そして就職して社会人・専門職として活躍するべく資質の高い人材に育てたいと考えています。

21世紀は高齢社会が更に進展し、3名に1名が高齢者となり、総人口も減少してゆきます。理学療法士がもっともっと求められる時代がきますので、その時に社会の求めに応じられる人間性豊で優しく、かつ創造力・競争力のあるしっかりした理学療法士を輩出させたいと考えています。

●言語聴覚学科の特徴

日本ではおよそ650万人、人口のおよそ5%程度が何らかのコミュニケーション障害をかかえて生活していると推測できます。言語療法の歴史は決して浅いものではなく、教育、医療、福祉などの各分野において長年にわたって臨床や研究が繰り広げられてきました。しかし、言語聴覚士法の成立（1997年）以降まだ日も浅いこともあり、国家資格としての言語聴覚士の数が絶対的に不足しております。まず言語や聴覚の障害を的確に評価・鑑別診断し、それに応じた治療プログラムを作成し実行するのが言語聴覚士の役割です。しかも、小児から成人まで幅広いことが特色です。障害児・者の個性を理解しながら柔軟に対処し、その周囲の人々に対しても上手にコミュニケーションできるよう手助けする役割も大切です。人間だけがもつ「ことば」というかけがえのない能力に障害を持った人々の尊厳を守るのが言語聴覚士の使命です。

医療技術学部理学療法学科 専任教員紹介



- **黒川幸雄 教授**
 (社)日本理学療法士協会副会長
 理学療法士、医学博士
 理学療法学概論、基礎理学療法治療学・
 実習、臨床実習指導
 理学療法政策管理運営論、理学療法教育
- **高木昭輝 教授**
 理学療法士、博士（医学）
 理学療法学基礎理論、基礎理学療法原論、
 基礎理学療法実習
 運動病態学、機能障害回復学
- **牧田光代 教授**
 理学療法士
 地域理学療法学、義肢装具学
 高齢者の運動療法、生活環境学

- **山田まりえ 教授**
 歯学博士
 解剖学、解剖学実習
 硬組織の形成と石灰化、上皮-間葉相互
 作用の解明等
- **石田寛友 教授**
 医学博士
 病理学、整形外科学
 形成外科、リウマチ、手足の外科、外反
 母趾、頸部外傷（むち打ち症）
- **押木利英子 助教授**
 理学療法士
 発達障害系評価学、発達障害系治療学
 小児理学療法、中枢神経疾患の理学療法

- **小林量作 助教授**
 理学療法士
 検査測定評価学、検査測定評価学実習、
 日常生活活動学、日常生活活動学実習
 神経疾患の理学療法、地域理学療法
- **寺島和浩 助教授**
 博士（工学）
 情報処理、リハビリテーション工学
 リハビリテーション工学、生体力学
 （バイオメカニクス）
- **大西秀明 講師**
 理学療法士、博士（障害科学）
 運動学、運動器系理学療法学
 動作筋電図、動作分析、下肢筋の機能解
 析
- **西野幾子 助手**
 歯学博士
 解剖学
 骨形成と骨吸収のカップリング現象
- **相馬俊雄 助手**
 理学療法士
 運動学、動作解析

- **氏名 職**
 肩書き
 担当科目
 専門分野

ホームページ <http://www.nuhw.ac.jp>
 の教員紹介もご覧下さい。
 山田、西野、寺島の3名は便宜上〔共通教
 育・教養科目担当〕に掲載されています。

理学療法科 オープンキャンパスの風景



筋電図の計測体験
 筋肉の動きを目や耳で感じ取るこ
 とはできただしょか。



小児理学療法体験
 治療用ボールを使って模擬治療を行いました。



基礎ゼミ I の発表（1年前期）
 基礎ゼミ I で行った研究発表のポス
 ターを掲示しました。

医療技術学部言語聴覚学科 専任教員紹介

●**湧井 豊** 言語聴覚障害概論・構音障害・言語聴覚障害学研究方法等担当。

新潟大学講師、上越教育大学教授を経て、本学医療技術学部長に就任。歯学博士、上越教育大学名誉教授。

日本特殊教育学会、日本言語障害児教育研究会（副会長）、日本音声言語医学会、新潟県聴覚言語障害児教育研究会（会長）等で活動。『構音障害の指導技法』『側音化構音の指導研究』『口腔筋機能療法(MFT)の臨床』など著書・論文多数。

●**中野雄一** 耳鼻咽喉科学、呼吸系構造・機能、聴覚系構造・機能、成人聴覚障害等担当。

新潟大学教授・同医学部付属病院院長、新潟労災病院院長を経て、本学教授に就任。医学博士、新潟大学名誉教授、新潟労災病院名誉院長。

日本耳鼻咽喉科学会、日本耳科学会（監事）、日本聴覚医学会、日本鼻科学会等で活動。「耳鼻咽喉科学テキスト」「真珠腫」「癒着性中耳炎の正しい取り扱い」「21世紀耳鼻咽喉科領域の臨床」など著書・論文多数。

●**大橋 靖** 臨床歯科医学、口腔外科学等担当。

東京医科歯科大学講師、岩手医科大学教授、新潟大学教授を経て、本学教授に就任。歯学博士、新潟大学名誉教授、ハルビン医科大学(中国)顧問教授。

日本口腔外科学会会長、日本口腔科学会会長、日本口蓋裂学会理事長・会長等を歴任。厚生労働省医療技術参与。平成7年(1995年)度第48回新潟日報文化賞科学部門受賞。「最新口腔外科学」(共著)、「図説 口腔外科学」(共著)、「かむこと、のむこと、たべること—咀嚼の科学—」(共編著)など著書、論文多数。口唇裂・口蓋裂患者の治療体系確立に指導的役割を果たしてきた。

●**亀田和夫** 音声学・音響学・聴覚心理等を担当。

新潟大学助教授・北海道大学教授を経て、本学教授に就任。医学博士、北海道大学名誉教授。

日本生理学会評議員、日本神経科学会・日本心理学会・日本音響学会等の会員として活躍。著書に『声と言葉のしくみ』があり、その他『日本生理学体系』、『聴覚と音声』、『基礎歯科生理学』等を分担執筆した。論文は米国のJournal of Neurophysiology（神経生理学雑誌）等の国際誌に載せられている。

●**渋谷直樹** 成人言語障害学等担当。

国立鳴子病院言語心理職、東北厚生年金病院言語心理部長を経て、本学教授に就任。言語聴覚士。教育学博士。

日本失語症学会、日本神経心理学会、日本聴能言語学会等の評議員、日本音声言語医学会、東北神経心理懇話会世話人などで活動。『失語症言語訓練のためのドリル集（全9巻）』『(シリーズ言語臨床事例集第4巻)失語症』『(同第5巻)失語症周辺領域のコミュニケーション障害』等の共編著、『重度失語症の言語臨床における諸問題』『「見渡せる範囲」間の位置関係がわからなくなった道順障害の1例』等、成人言語障害・高次脳機能障害に関する共著、論文多数。

●**市島民子** 言語発達学・言語発達障害および演習・言語聴覚障害論担当。

上智大学非常勤講師、上智国際言語情報研究所客員研究員、ストックホルム大学言語学研究所客員研究員、東京都文京区福祉センター他、

都内福祉センター数カ所、武蔵野中央幼稚園言語・心理相談員を経て、本学助教授に就任。言語聴覚士。

日本語聴覚士学会、日本聴能言語学会、日本音声言語医学会、日本発達心理学会会員。『赤ちゃんの抱き方』『赤ちゃん語がわかりますか』(共著)その他音声音韻発達に関する論文。

●**磯野信策** 器質性構音障害担当。

新潟市ことばの相談室、新潟大学歯学部附属病院を経て、本学助教授に就任。学術博士。

日本口蓋裂学会、日本音声言語医学会、日本聴能言語学会、日本口腔外科学会、日本特殊教育学会、新潟歯学会、新潟県聴覚言語障害児教育研究会等で活動。

『コミュニケーション障害 6 構音障害・口蓋裂』『シリーズ言語臨床事例集 第1巻 口蓋裂』『口唇・口蓋裂児のことばの相談室』など共著、論文あり。

●**今村 徹** 臨床神経学、高次脳機能障害学等担当。

兵庫県立高齢者脳機能研究センター行動神経学研究室研究員を経て、本学助教授に就任。医学博士。神経内科学会認定医。

日本神経心理学会評議員。日本痴呆学会、日本失語症学会、日本神経学会等でも活動。「Age at onset and language disturbances in Alzheimer's disease」「Clinical diagnosis of dementia with Lewy bodies in a Japanese dementia registry」「アルツハイマー病をめぐる最近の諸問題：言語・行為障害」「神経心理学的検査：ベッドサイドでの定性的評価のために」など論文多数。

●**山口富一** 聴覚障害(小児)・聴覚障害演習等担当。

新潟県立新発田商工高等学校、長岡聾学校、新潟聾学校教諭を経て2002年度本学講師に就任。教育学修士。

全日本聾教育研究会。新潟県聴覚言語障害児教育研究会理事・事務局。

新潟県教育委員会心身障害児就学指導専門委員会専門員代表者として「心身障害児就学指導資料」分担執筆(S62~H7)、「高度・重度聴覚活用の実態」「聾学校幼児児童の聴覚活用の実態」「聴覚障害児の数唱の聞き取りにおける振動感覚併用の効果」など論文多数。

●**相場恵美子** 発達心理学、学習・認知心理学、心理測定法、発達障害学等担当。

新潟大学脳研究所脳神経外科学教室より本学講師に就任。言語聴覚士。文学修士(心理学)。新潟大学大学院現代社会文化研究科在籍中。

日本聴能言語学会、日本心理学会、日本神経心理学会、日本失語症学会等で活動。

新潟県言語聴覚士会運営委員。新潟県失語症連絡会事務局担当。共訳書『認知神経心理学』『神経心理学を学ぶ人のための神経学』など。

●**杉山貴子** 実習等担当。

上智大学大学院外国語学研究科言語学専攻言語障害研究コースを経て本学助手に就任。新潟リハビリテーション病院勤務(非常勤)。言語学修士。言語聴覚士。

『失語症者に対する談話促進教材の検討—パソコンを用いた動画・静止画教材の比較』(修士論文)。

●**氏名・担当科目・略歴・学会活動・主要著書・論文**



2002年度専任教員

創立記念式

創立記念式 式次第

午後1時10分 開会

1. 学長講話 創立記念の趣旨について
学長 高橋 榮明
2. ミニコンサート
 - (1) 手話クラブ 1) 幸せなら手をたたこう
2) 手のひらを太陽に
 - (2) 吹奏楽クラブ 1) 王宮の花火 (ヘンデル作曲)
2) 未来予想図Ⅱ
3. 夢と希望を語る
 - (1) 1年生各学科代表 (4名ずつ)
理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、
健康栄養学科、社会福祉学科
 - (2) クラブ代表 (1名ずつ)
運動系クラブ：野球部、サッカー部、テニス部、
バスケットボール部、陸上部
文化系クラブ：写真部、園芸部、茶道部、
コーラス部、レクア・コム

終了 午後2時40分

●創立記念式について

大学設立に際し、平成11年6月17日に文部省から財団法人 新潟医療福祉大学設立準備財団の設置許可をいただいたことに由来し、その日を創立記念日といたしました。

そして今年についてはそれに最も近い水曜日、6月19日(水)に創立を記念しての式典を行いました。

開学2年目を迎える新しい大学にとって、大学やクラブ活動、更に個人の立場で未来を展望する機会を持つことは、大きな意義があります。

年に一度、学生、教職員が集い、将来を考える機会として創立記念日を考えております。



手話クラブによるミニコンサート「幸せなら手をたたこう」

オープンキャンパス

第1回7月20日(祝)、第2回8月3日(土)に高校生や御父母の方を対象にオープンキャンパスが行われました。今年は昨年にも増して多数の方からご参加いただくことができ、午前の全体で行うプログラムでは大講堂だけでは皆様にお座りいただくことができず、急遽大講堂と中講義室の2会場を設定し、学長挨拶、各学科紹介、入試概要説明を2会場同時進行で行い、うれしい悲鳴というところでした。

全体でのプログラム終了後、各学科の学ぶ内容や、目指す専門職の仕事を参加者の皆様に解り易くお伝えすべく、各学科で工夫を凝らした体験実習や模擬授業などのプログラムにご参加いただきました。

第1回7月20日(祝)には、オープンキャンパス関連企画として、言語聴覚学科主催のオープンセミナーが行われ、聖隷三方原病院から小島千枝子先生を講師としてお招きし、「摂食・嚥下障害のリハビリテーション」の

演題でご講演いただきました。こちらについても一般の方からも多数ご参加いただき、大講堂が満席になる大盛況となりました。



学生フレンドシップ活動



5月から7月までの間に、各学科ごとに新入生歓迎行事として学生と教員の交流会が行われました。

新潟医療福祉大学近郊の自然環境に恵まれた「海辺の森」のキャンプ場において、基礎ゼミのグループを単位として、飯盒炊さんで夕食を作り、キャンプファイヤーなどで楽しく過ごした後、テントで一泊しました。

この行事は各学科ごとに内容を見直し、次年度へと引き継がれていく予定です。

銀山平・尾瀬トレッキング実習



スポーツ・健康Ⅱ「銀山平・尾瀬トレッキング実習」が、8月1日から3日にかけて行われ、85名が約30kmにおよぶ尾瀬の縦断にチャレンジしました。参加者は急激に変わる天候にも屈せず3日間元気に行動しました。非日常的な自然の中で仲間とともに活動することにより、自分自身を深く見つめたり、仲間のよさを実感したり、センス・オブ・ワンダーの精神である「知る」ことよりも「感じる」ことの大切さを体感していました。

■大学祭のご案内

02' 秋、2回目の大学祭を迎え、新たな歴史を刻もうとしております。草木や稲穂は秋色へ変わり、私たち学生の心も大学祭色へと移り変わっているところです。

さて、今年度より、大学祭の名称が“伍桃祭”と決まり、皆さまに親しまれていくようお願いしております。今年のテーマは「聞かせてほしい、あなたのDo」ということでありまして、学生、ご来場されたお客様が抱えている「夢」または、やりたいこと、やっていること、考えていることなど内に秘める熱い想い、ハートを聞かせていただきたいわけでありまして。そう、大学祭の本当の主演はあなた自身なのです！

今年は新1年生も入り、大学祭も2日間となり、規模も少々拡大します。そして只今、大学祭に向けての準備に猛ダッシュしています。昨年の大学祭を上まわるものを皆様に提供しようがんばっておりますので、ぜひ遊びに来てください。m(__)m

大学祭実行委員長 佐藤 洋介

第2回新潟医療福祉大学大学祭 伍桃祭

日時：平成14年10月13・14日
午前9時～午後4時

●当日のイベント予定

- ・スペシャルゲストによる催し物
- ・雅童（雅楽）野外コンサート
- ・松浜 和太鼓
- ・出店（クレープ、お好み焼き、プチパフェなど）
- ・各種ステージイベント
（ビューティーコロシウムなど）
- ・各学科紹介、体験学習
- ・入試相談コーナー

●お問い合わせ

ホームページ：http://gotousai.hoops.ne.jp
メールアドレス：gotousai@24i.net

■入学選考試験日程

試験区分	試験地	学部・学科	出願受付期間	入学選考試験日	合格発表日
推薦入学 選考試験	高等学校推薦	新潟 全学部全学科	平成14年11月1日（金） ） 平成14年11月8日（金） （当日消印有効）	平成14年11月16日（土）	平成14年11月23日（土）
	自己推薦	新潟 理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科			
社会人等特別入学選考試験	新潟	全学部全学科			
一般入学 選考試験	前期日程	新潟 東京 全学部全学科	平成15年1月13日（月） ） 平成15年1月24日（金） （当日消印有効）	平成15年2月2日（日）	平成15年2月8日（土）
	後期日程	新潟 全学部全学科	平成15年2月17日（月） ） 平成15年2月28日（金） （当日消印有効）	平成15年3月8日（土）	平成15年3月15日（土）

●なお、アドミッションオフィス（AO）方式による入学選考試験については9月18日（水）当日の消印をもって出願受付を締め切りました。